

地 理 歴 史

(歴史総合，世界史探究)

答 案 作 成 上 の 注 意

1. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入しなければいけません。
2. 歴史総合，世界史探究は 23 ページから 33 ページまでです。
3. 解答用紙の受験番号欄は 3 か所です。氏名を書いてはいけません。
また，※印欄には何も記入してはいけません。
4. 解答には筆記用具，消しゴム以外のものを使用してはいけません。
5. 問題冊子と使用しない解答用紙は持ち帰ってください。

問題 1 以下の文章を読み、各設問に答えなさい。

問 1 現代の歴史地区と呼ばれる地域のなかには、前近代に成立した都市を基礎にしているところも多い。次の文ア～コは、世界各地の都市における歴史地区についての説明である。ア～コのなかから、(a)～(e)の都市に当てはまる説明として最も適するものを一つずつ選び、その記号を答えなさい。

ア 宮城を中心に格子状の道路によって計画的に造成された都市であり、郊外には北方からの異民族の侵入を防ぐために、長大な城壁も築かれた。

イ 宮城を中心に広がった円形状の都市であり、『千夜一夜物語』の原型となる世界各地の説話が集まる、当時の国際都市であった。

ウ 古代ローマの首都の一つとして発展した都市であり、後にトルコ系のイスラム王朝の首都となると、多様な宗教・宗派が混在する国際都市として栄えた。

エ アラム人の内陸中継交易の中心地として栄え、ウマイヤ朝の首都となり、現存する最古のモスクがある。

オ 古代ローマの軍営都市を起源とし、15世紀以降に神聖ローマ皇帝を世襲する家系の本拠地であった。東方からの侵攻を防ぐとともに、交易の拠点となった。

カ 近郊で銀・銅が産出されたため、中世には商工業の中心地として栄えた。都市における金融業の発展も目覚ましく、文化や出版の中心地としても発展した。

キ 中世には自治都市となって東方との遠隔地貿易の拠点として発展し、商人層からの庇護のもと、文芸の中心地として栄えた。

ク 都市の中心部には市民のための社交場や市場が立地するほかにも、公衆浴場や劇場をはじめとした市民向けの公共施設が充実していた。

ケ 都市の中心には防衛のための城塞や神殿となる丘があり、麓には市場や集会を開くための広場があり、市民が集まってさまざまな議論が行われていた。

コ 北方からの異民族の侵入を防ぐという軍事上の目的から発展した都市であるが、後に異民族の諸王朝の首都となって発展し、北方との繋がりを強めていった。

(a) アテネ

(b) ウィーン

(c) ダマスクス

(d) フィレンツェ

(e) 長 安

問 2 前近代の都市では、円滑な運営を実現するため、各都市で独自の制度を整備してきた。次の文サ～ソのなかから、古代のアテネに該当するものを一つ選び、その記号を答えなさい。

- サ 試験による官吏の登用制度を充実させ、都市の運営組織を充実させた。
- シ 市民の投票で僭主になる恐れがある人物を一時的に追放する仕組みを制度化した。
- ス 商人や職人が同業者同士で利益確保や相互扶助のために組合を制度化した。
- セ 信徒からの徴税は免除し、信徒でない人びとには課税する仕組みを制度化した。
- ソ 都市の中心部に宗教施設や高等教育機関を設置して、学問を推奨した。

問 3 前近代の都市では、紙以外にも周囲の自然環境や交易によって入手した原料を用いて、都市におけるさまざまな活動を記録してきた。前近代のウィーンにおいて用いられた記録媒体としては最も適当でないものを一つ選び、その記号を答えなさい。

- タ 石碑
- チ タペストリー(羊毛)
- ツ 竹簡
- テ 陶器
- ト 羊皮紙

問 4 次の文章は、中世のフィレンツェにおいて流行したある疫病をきっかけに生まれた文学作品について書かれた解題を、要約して記したものである。この解題の作品名と、作品が生み出されるきっかけとなった疫病名をそれぞれ答えなさい。

疫病が都市に大流行していた時代、女7人男3人の合計10人の一行が、郊外へ避難し、つれづれをなぐさめるべく物語を語り出す。そこでは、僧侶生活の裏面や恋愛の実相を描き、大胆な人間解放の躍動が感じられる、近代小説の基礎となった一冊である。

問 5 次の文章は、カイロのある歴史地区が衰退した理由を説明したものである。

文章中の空欄(f)と(g)に当てはまる語句を答えなさい。

現代のカイロ市における歴史地区は、異なった時代に建設された都市が市内に点在している。正統カリフ時代に建設されたフスタートが、この地の経済的な中心地であった。しかし、(f)朝がフスタート北部に新都カイロを建設すると、12世紀には後のアイユーブ朝の創始者となる(g)による占領を経て、街の中心はカイロへと移り、フスタートは衰退した。

問 6 前近代までは政治や経済、社会、文化の中心であった都市であるが、近代以降は人口増加や産業構造の転換にともなう都市開発の圧力にさらされてきた。

次の文章は、ダマスカスにおける近現代の状況について記述したものである。

文章中の空欄(j)と(k)に当てはまる語句を答えなさい。

ダマスカス旧市街と呼ばれる歴史地区には、多くの歴史的な宗教施設や公共施設が現存する。これらの建造物は、20世紀に都市が近代化する過程で、行政や住民による維持管理が困難となった。この危機を乗り越えるため、20世紀後半には国連の専門機関である(j)の世界遺産の制度に旧市街全体を登録することで、国際援助を通じた文化財保護や観光振興がはかられた。また、イスラーム経済の枠組みを活用し、前近代に活発であった宗教的な寄進制度である(k)を復活させる取り組みも行われている。

問 7 現代の都市における歴史地区は、人びとのさまざまな想像力をかき立て、文芸活動を生み出す原動力ともなっている。次の文章は、20 世紀後半に洛陽を訪問したある作家が、訪問時の印象を記したものである。このような印象を作家がもつに至った、9 世紀当時のこの都市の経済状況について、下記の語句をすべて用いて、50 字以内で答えなさい。ただし句読点も字数に含む。

「九世紀には、日本僧の空海も円仁もこの町を通った。そのときは漢人の商人のほかに、イラン系の商人やアラビア系の商人たちが多数居留して数字と思惑が町中に充満していたにちがいない。かれらは一望の稲作地帯でしかない日本からきて、この町を支配している商業と数字というものに、自分たちの専門ではないながら——かれらは僧侶であるために——もふしぎの思いをもったかとおもえる。」

司馬遼太郎『長安から北京へ』

隊商交易 ムスリム

問題 2 以下の文章を読み、各設問に答えなさい。

現在における我々の社会の経済システムである資本主義はどのようにして成立したのであろうか。

18世紀後半からはじまる産業革命によって大規模な工場制機械工業による生産が普及すると、工場を^①経営するための資本をもつ産業資本家が社会の経済活動を支配するようになった。他方で、機械制工場によって安価な商品が大量に生産されるようになると、道具を使用する小規模な手工業者は没落し、^②困り込みのために農村を離れた農民とともに工場労働者となった。こうして資本をもつ産業資本家が労働者を雇って商品を生産し、^③ A を追求する資本主義社会が成立したといえる。こうした労働者の生活条件は劣悪で、工場では安い労働力として長時間の労働を強いられた。このような状況から、工場法がしばしば出されて、労働時間の短縮、^④児童や女性の労働条件の改善がはかられた。

^⑤過酷な労働条件のもとにおかれた労働者は、産業革命による機械化の進展に抵抗する運動^⑥を各地で展開した。しかしこのような運動はしだいに衰退し、労働者は相互扶助組織や労働組合を結成し、労働条件の改善を求める持続的な労働運動を展開していくようになった。またイギリスの労働者は政治への参加資格を求めるチャーティスト運動^⑦をおこした。

資本主義社会の確立にともなって資本家と労働者の対立が激しくなると、経済活動の自由や私有財産を制限して社会全体の福祉を向上させようとする社会主義思想が、さまざまに生まれた。イギリスの工場経営者 B や、フランスの思想家サン・シモン、フーリエなどが、共同体的な理想社会を構想した。またフランスの C は生産の国家統制をめざし、^⑧ブルードンは国家権力を否定する思想の先駆となった。

ドイツの D は、1848年にエンゲルスと共同で『共産党宣言』を発表し、万国の労働者の団結をよびかけ、E によって社会主義を実現するように説いた。亡命先の都市 F で書いた『資本論』は資本主義の矛盾と没落の必然性を説き、20世紀の^⑨共産主義運動や^⑩社会主義国建設に大きな影響を与えた。他方イギリスでは、『諸国民の富』で自由な経済活動と市場経済の発展を理論化した G を継承し、マルサスやリカードらが H 経済学を確立した。

資本主義の成立により拡大した貧困や格差といった現代の社会問題はどのように解決されるべきなのだろうか。

問 1 A ~ H に最も適する語句を答えなさい。

問 2 下線部①について、産業革命はイギリスで最初に起こったがその要因の一つとして二つの天然鉱物資源にめぐまれていたことが挙げられる。その名称をそれぞれ答えなさい。

問 3 下線部②について、毎日決まった時刻に出勤し、決まった時間働く、といった今日では当たり前の労働のあり方は産業革命によって産み出された。工場で大勢の労働者が共同して働くようになったため、時間や規則に縛られ、報酬も職人のような出来高ではなく、時間給となった。産業革命以前、職人の間では週末は酒を飲み、二日酔いで週明けは働かないといった習慣があったが、これは何と呼ばれるか。その名称を答えなさい。

問 4 下線部③について、こうした運動は何と呼ばれるか。その名称を答えなさい。

問 5 下線部④について、チャーティスト運動において求められたのは、21 歳以上の男性普通選挙、議員の財産資格撤廃、毎年の議会改選、平等な選挙区、議員の有給制のほか何か。その名称を答えなさい。

問 6 下線部⑤について、こうした国家の廃止を唱える思想を何と呼ぶか。その名称を答えなさい。

問 7 下線部⑥について、資本主義においては労働者は労働してもその報酬を完全には受け取れない仕組み(搾取)があると考えられている。それに対して社会主義では人びとは「能力に応じて働き、労働に応じた分配を受ける」といわれており、生産力が高度に発展した共産主義にあつては「能力に応じて働き、に応じて分配を受ける」と考えられている。この空欄に最も適する語句を答えなさい。

問 8 下線部⑩について、第二次世界大戦後、資本主義陣営と社会主義陣営との間で冷戦と呼ばれる対立が生じたが、この冷戦に関連する以下の歴史上のできごとを古い順にならべなさい。

- a 北大西洋条約機構の結成
- b ソ連によるベルリン封鎖
- c コミンフォルムの結成
- d 経済相互援助会議の創設
- e マーシャルプランの発表

問 9 下線部③について、この囲い込みは「第二次囲い込み」と呼ばれるできごとであるが、その目的は何であったか。20 字以内で説明しなさい。ただし句読点も字数に含む。

問10 下線部④について、この当時イギリスでは穀物法によって穀物の輸入を制限し、地主の利益を保護していたが、産業資本家はこの法律に反対し、反穀物法同盟を結成した。産業資本家が穀物法に反対した目的は何か。次の文章のかぎ括弧内を 15 字以内で説明しなさい。ただし読点も字数に含む。

安価な穀物を輸入することで労働者の「 」ため。

問11 下線部⑤について、なぜ産業革命の時代において工場で児童や女性が労働者として雇われるようになったのか。その理由を 75 字以内で説明しなさい。ただし句読点も字数に含む。

問題 3 以下の文章を読み、各設問に答えなさい。

東アジアの歴史において、朝鮮半島と中国のそれぞれの歴代王朝は、対立と融和、従属といった複雑な関係を築いていた。とくに朝鮮半島北部は地勢から中華文明圏の影響を受けやすかった。実際、前2世紀には漢から亡命した A が朝鮮半島では最初の国家とされる王朝を建国した。その王朝は前漢の B により前108年には滅ぼされ、C 郡や臨屯郡など4郡が設置された。しかし現地の反発や周辺勢力の伸長もあり、その後は C 郡のみとなった。紀元前1世紀頃には中国東北部の南部で D が建国され、以後600年以上にわたって中国の歴代王朝と複雑な関係を持つこととなる。D は313年に C ①郡を滅ぼし、朝鮮半島北部を支配することになる。

他方、朝鮮半島南部では小勢力が分立していたが、4世紀半ばには同地域の東側に E が、西側には F が成立した。その結果、朝鮮半島は D を含めた3国が鼎立する状態となった。ただし半島の南端は G 諸国が成立しており倭国(日本)とも密接な交流があった。D , E , F の3国は、対抗したり同盟関係を結んだりしながら、半島内で勢力を競い合った。3国は中国の王朝に使節を送り、その権威を利用して他国よりも優位に立とうと試みた。また、倭国(日本)も4世紀末以降には朝鮮半島情勢に深くかかわっていたことが、中国の吉林省集安で発見された石碑からうかがい知ることができる。③

しかし朝鮮半島での三国時代は、6世紀後半に隋が約280年ぶりに中国を再統一したことで大きな影響を受ける。安定した統一王朝による朝鮮半島への介入が可能となったからである。そこで3国とも隋との外交関係を深めようとしたが、D と隋との関係は悪化した。ついに隋の第2代の H は大規模な遠征を実行した。しかし3度にわたる遠征が失敗に終わると、これをきっかけに隋の全土で反乱が発生し、隋は統一後わずか30年ほどで滅亡した。

④ 隋末の混乱に乗じて挙兵した李淵は、618年に隋を倒して唐を建国した。第2代の I は中国国内を再統一した。I の治世に国力を高めた唐は、朝鮮半島での3国の抗争に介入した。きっかけは D ・ F と対立した

[E] が唐に支援を要請したことであつた。唐の第3代の高宗の時代には、両国は連合してまず [F] を、次に [D] を滅ぼした。[F] を滅ぼした直後には、[F] 復興を目指す勢力と手を結んだ日本の介入もあったが、663年に [J] で両国は日本の遠征軍を破った。しかし [D] ・ [F] を滅ぼした唐が半島全域を勢力下に置こうとしたため、[E] はこれに反発し、唐の勢力を朝鮮半島から排除することに成功する。この結果、朝鮮半島で最初の統一国家が成立した。首都は [K] に置かれた。

[E] は唐と一時対立したものの、半島統一後は改めて唐の優越性を認めた外交関係を結び、唐の制度や文化を受容した。唐の官僚制を取り入れつつ、その運用は独自の身分制度を基盤とした。文化面では仏教を保護し、[K] 郊外に^⑤751年に創建された [L] は有名である。7世紀後半には日本との外交関係も重視するようになった。また7世紀末には、[M] が [D] 遺民と靺鞨人を統合して [N] を建国した。[N] は唐を中心とする国際秩序を受け入れ、日本とも友好的な関係を築いた。そのほか、[E] や [N] , また日本も唐の首都をモデルにした [O] と呼ばれる都市制度を導入していた。8世紀は唐を中心に東アジアの国際秩序が安定した時期であつたと言える。

問1 [A] ~ [O] に最も適する語句を答えなさい。ただし同じ記号の空欄には同じ語句が入るものとする。

問2 下線部③の石碑の名称を答えなさい。

問3 下線部④について、国内でのある土木事業が民衆に負担を強いたことも原因として考えられている。この事業で建設されたものは一般的に何と呼ばれるか答えなさい。

問4 下線部⑤の名称を答えなさい。

問 5 下線部①について、なぜ D が朝鮮半島北部を掌握できたのか、その理由を 65 字以内で答えなさい。ただし句読点も字数に含む。

問 6 下線部②について、中国の周辺国家が中国王朝の権威を借りようと使節を送ることを(a)何というか答えなさい。また(b)この外交の特徴について思想と経済の 2 つの側面に触れて 150 字以内で答えなさい。ただし句読点も字数に含む。

